

事前評価調書

I 事業概要						
事業名	道路事業（道路改良事業）					
地区名	一般県道 <small>おぶちこうなん</small> 小淵江南線					
事業箇所	丹羽郡 <small>にわ</small> 扶桑町 <small>ふそう</small> 大字 <small>おぶち</small> 小淵～大字 <small>みなみやまな</small> 南山名					
事業のあらまし	<p>一般県道小淵江南線は、丹羽郡扶桑町から江南市に至る延長 6.9km の路線であり、起点部が(仮称)新愛岐大橋の取付道路となる重要な路線である。</p> <p>(仮称)新愛岐大橋の架橋予定箇所の下流にある愛岐大橋は、災害時の緊急活動や愛知県と岐阜県の交流・産業振興を支える重要な路線であるが、慢性的に渋滞が発生している状況である。</p> <p>このため、「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」、「国際競争力を強化する基盤整備」、「地震・津波対策の強化」、を主な目的として、交通の円滑化、愛知県・岐阜県とのさらなる交流や産業振興を図るとともに、当地域における大規模災害時等の円滑な救援・復旧活動を可能にするため、(仮称)新愛岐大橋の架橋に合わせ、取付区間の現道拡幅事業を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>(2) 国際競争力を強化する基盤整備</p> <p>(3) 地震・津波対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	14.3 億円		■工事費 5.6 億円、■用補費 7.7 億円、■その他 1.0 億円			
事業期間	採択予定年度	平成 29 年度	着工予定年度	平成 29 年度	完成予定年度	平成 36 年度
事業内容	現道拡幅（延長：L=0.4km、車線数：2 車線、幅員：W=18m）					
II 評価						
①事業の必要性	1) 必要性	<p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上流の犬山橋の交通量は 15,849 台/日、混雑度は 1.22、下流の愛岐大橋の交通量は 21,552 台/日、混雑度は 1.36 となっており、慢性的に渋滞が発生している状況である。(H27 道路交通センサス結果) <p>(2) 国際競争力を強化する基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県各務原市には、航空宇宙産業関連企業が集積しており、アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区に指定されている。また、当地域内で生産された航空製品の大部分は愛知県へ流通しており、小淵江南線及び(仮称)新愛岐大橋の整備は県営名古屋空港周辺地区等の愛知県内の特区を結ぶルートとなる。 <p>(3) 地震・津波対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上流の犬山橋、下流の愛岐大橋ともに第二次緊急輸送道路に指定されており、特に愛岐大橋は昭和 43 年度に架橋され、架橋後 50 年近く経過している橋梁であり、その補修等の際の代替性が期待できる。 				
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災機能の向上や円滑な交通の確保のため、事業実施の必要がある。 			

②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> <th>H36</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工 種 区 分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="3">←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td colspan="4">←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td colspan="7">←————→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5">9.5</td> <td colspan="4">4.8</td> </tr> </tbody> </table>										H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	工 種 区 分	調査・設計	←————→								用地補償		←————→							工事		←————→							事業費（億円）		9.5					4.8			
			H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36																																																
	工 種 区 分	調査・設計	←————→																																																							
		用地補償		←————→																																																						
工事			←————→																																																							
事業費（億円）		9.5					4.8																																																			
2) 地元の合意形成	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体より早期整備の要望を受けている。 ・地元住民に対し事業説明会を開催し、合意形成を図っている。 																																																									
判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。																																																								
	【理由】	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね円滑な事業環境が整っており、計画の実効性が確保されている。 																																																								
Ⅲ 対応方針																																																										
実施	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。																																																									
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																										
■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度																																																										